

## 外国語科（英語）学習指導案

1. 日時 2024（令和6）年11月13日（水） 第5校時 14:15～15:05

2. 対象 2年2組41人

3. 場所 南館4階 2年2組教室

4. 教材 BLUE SKY2（啓林館）

5. 単元 Let's Talk 6 「道案内」（P86）

6. 単元について

1) 単元観

これまで生徒たちは、小学校で“Go straight.”や“Turn right.”などの表現を使って道案内をする活動を行ってきた。中学校1年生では疑問詞“where”を使って旅行者に道を尋ねられ、答えるという表現を扱った。多くの外国人が日本を訪れ、日本からの海外旅行者数がコロナ渦以前に戻りつつある今日、案内の表現は今後使用頻度が高まることも想定される。既習表現を想起させながら、交通手段を扱った道案内へと幅を広げていきたい。

2) 生徒観

明るく、とても反応がいいクラスである。人とコミュニケーションを取ることや、新しいことを知ろうとする意欲も感じられる。パフォーマンステストでは、積極的に自分を表現しようとする生徒が多数である。教え合える雰囲気があり、分からないことを分からないと言いやすい環境であると感じている。

しかし、語彙数が増えるにつれて書くことや読むことに苦手意識を感じている生徒もいる。

3) 指導観

本単元ではペアでの活動に積極的に取り組み、その場に応じた英語を用いて即興で目的地までの行き方を尋ねたり、答えたりすることを学習のねらいとする。そのために、タブレットを用いて視覚的な情報を活用しながら繰り返し練習することを取り入れる。

また、本単元ではバスでの道案内が取り上げられているが、今回は生徒にとって身近な阪急電車の路線図を取り上げたい。自分の英語で、相手に目的地までの行き方を教えることが出来るという思いを味わわせ、同時に自分の行きたい場所までの情報も正確に聞き取れるようにしたい。場所を尋ねる応用表現も扱うため、基本文を押さえつつも理解しやすい指導を工夫したい。本時での学習を、後にパフォーマンステストやライティングにも繋げていきたいと考えている

## 7. 単元目標

- 1) バスなどでの行き方について、簡単な語句や文を用いて尋ねることができる。
- 2) バスなどでの行き方について、簡単な語句や文を聞き取ることができる。
- 3) バスなどでの行き方について、外国人の旅行者との対話を演じたり文字で表現できる。

## 8. 単元の評価基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスなどの行き先や運行について尋ねる表現を理解している。</li> <li>・バスなどの行き先や運行について尋ねる表現の理解を基に、バス停や駅で必要な情報を尋ねる対話を読む技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求める情報が何であるか伝わるよう、バス乗り場や駅で必要な情報を尋ねる対話を音読したり演じたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求める情報が何であるか伝わるよう、必要な情報を尋ねる対話を音読したり演じたりしようとしている。</li> </ul>
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスなどの行き先や運行について尋ねる表現を理解している。</li> <li>・バスなどの行き先や運行について尋ねる表現を用いて、行きたい場所への行き方を尋ねる技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行きたい場所への行き方を知るために、バスなどの行き先や運行について、簡単な語句や文を用いて尋ねている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行きたい場所への行き方を知るために、バスなどの行き先や運行について、簡単な語句や文を用いて尋ねようとしている。</li> </ul>

## 9. 指導計画

第1時・路線図を見ながら行きたい場所への行き方を尋ねたり、その応答を理解する。(本時)

第2時・道案内の場面を設定し、行き方を尋ねたり答えたりする。

### 10. 本時のねらい

- 1) モデル文を参考にして行き方を尋ね、説明することができる。
- 2) ペアでの活動に積極的に取り組み、その場に応じた英語を用いて案内することができる。

### 11. 本時の流れ

時間配分	活動内容	留意点
2	Greeting	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語学習の雰囲気を作る。</li> </ul>
6	Q and A 英問英答 ALTの質問に答えられた生徒から座る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・答えられない生徒をフォローする。</li> <li>・英語のみで答えられるように促す。</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図を用い、小学校や中学校1年生で学んだ道案内を復習する。</li> <li>・聞いた場所へ辿り着けるか、自分の行きたい場所へ案内できるか、ペアで役割を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的地の言い方や基本的な表現を確認する。</li> <li>・復習と同時に、交通機関を利用した表現の導入へと繋げる。</li> <li>・活動の様子を観察しながら、スムーズなペア</li> </ul>

	交代しながら練習する。	ワークが行えるようフォローする。
10	・交通手段（電車）を用いての案内の表現を確認する。	・身近な阪急電車の路線図を取り上げ、口頭練習を繰り返す。
17	・路線図を見ながら、目的地までの行き方を言えるようにする。	・ペアで相談しながら目的地までの行き方を確認し、言えるように促す。
5	・本時の学習を振り返り、次時の予告を聞く。	・本時のポイントを再確認し、次時は教科書で内容を確認すること、またパフォーマンステストでも本時と同じ内容を扱うことを予告する。